ＢＬＵＥ　ブルー（1993）

BLUE

メディア 映画
ジャンル その他
製作国 イギリス／日本
色彩 Color
時間 75分
初公開日 1994/03/26
公開情報 アップリンク

【解説】

鬼才デレク・ジャーマンが、画家イブ・クラインにオマージュとして捧げた異色作。映像はタイトル通り、終始画面に青一色の映像が映し出されるのみ。そこに、エイズに侵され自分の死期を感じたジャーマンの、失明の危機による恐怖心、病を克服した愛について、そして自身の人生などの悲痛なナレーションが被る。この映画でジャーマンは、そのナレーションを聞きながら青い画面を見続けることにより、様々なイマジネーションが浮かんでくるという手法を取っているが、確かにこの吸い込まれる様なブルーの画面を見ながら彼の刻一刻と病に侵されてゆく声を聞いていると、実に感慨深いものを感じる。ただ日本で見ると言葉の問題から、その青い画面に字幕が入る為、彼の意図する所を感じながらもその良さが半減してしまうといった感想を持った。映画の公開時にはその辺を考慮に入れてか、字幕入りとオリジナルの２バージョンを交互に上映していたが、やはり言葉の壁の問題で字幕入りを選ばざるをえない語学力のなさに、悔しい思いをした人も多いかもしれない。この深い“ブルー”はスクリーンに映し出されてはじめてその真価を発揮するものであり、テレビのブラウン管では味わい難いだろう。ジャーマン自身もこの作品を製作するにあたって、実際にスクリーンに映し出した画面を見ながら、そのイメージでナレーションを入れている。どこかの映画館で再度掛かったら是非足を運んで劇場で“体験”してほしい作品。

【クレジット】

監督	デレク・ジャーマン	Derek Jarman
製作	ジェームズ・マッケイ	James Mackay
	浅井隆	Takashi Asai
脚本	デレク・ジャーマン	Derek Jarman
音楽	サイモン・フィッシャー・ターナー	Simon Fisher-Turner
演奏	ブライアン・イーノ	Brian Eno
	モーマス	
	ヴィニー・ライリー	
	ミランダ・セックス・ガーデン	
	コイル	
出演	ジョン・クエンティン	John Quentin
	ナイジェル・テリー	Nigel Terry
	ティルダ・スウィントン	Tilda Swinton
	デレク・ジャーマン	Derek Jarman

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。 Copyright (C) 2024 Stingray. All Rights Reserved.